

第165回 中小企業景況調査報告書 (2021年7-9月期) 〈製造業編〉

※D Iとは…

「好転」と回答した企業の割合－「悪化」と回答した企業の割合。D I値がマイナスの場合は、悪化したと回答した企業の数が多いことを示す。

中小企業基盤整備機構 総合情報戦略課

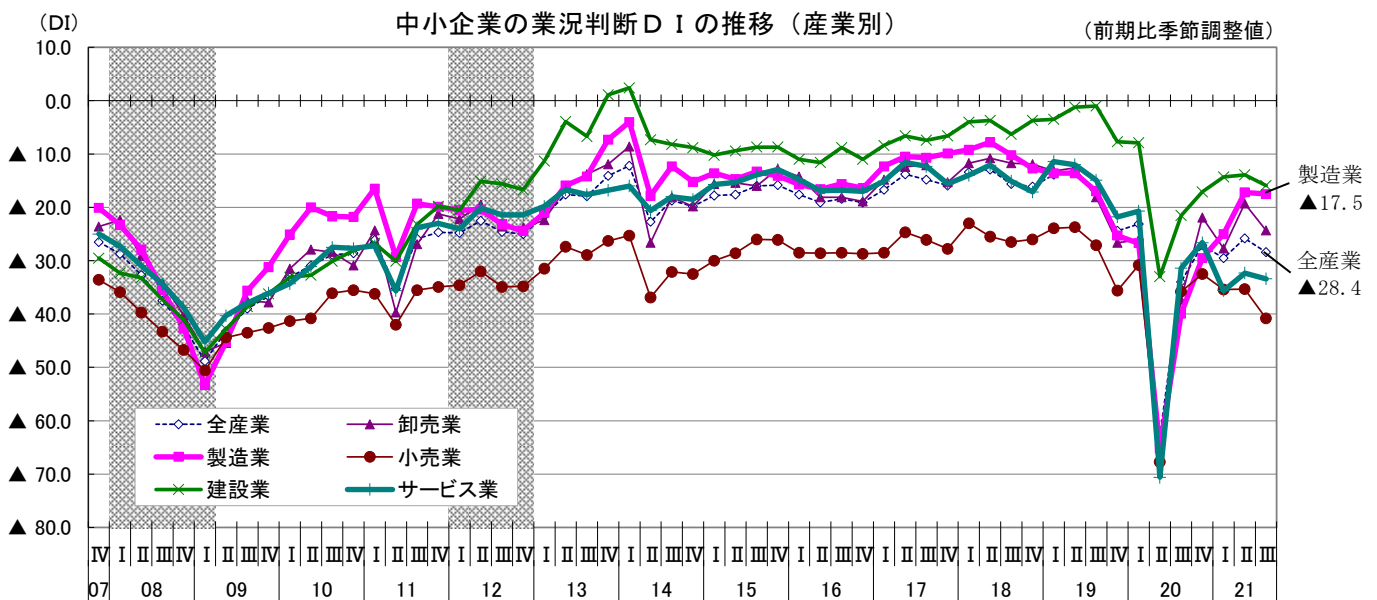
〒105-8453 東京都港区虎ノ門3-5-1

TEL:03-5470-1521(ダイヤルイン)

URL:https://www.smrj.go.jp/research_case/research/survey/index.html

中小企業の業況判断D Iは、2期ぶりに低下した。

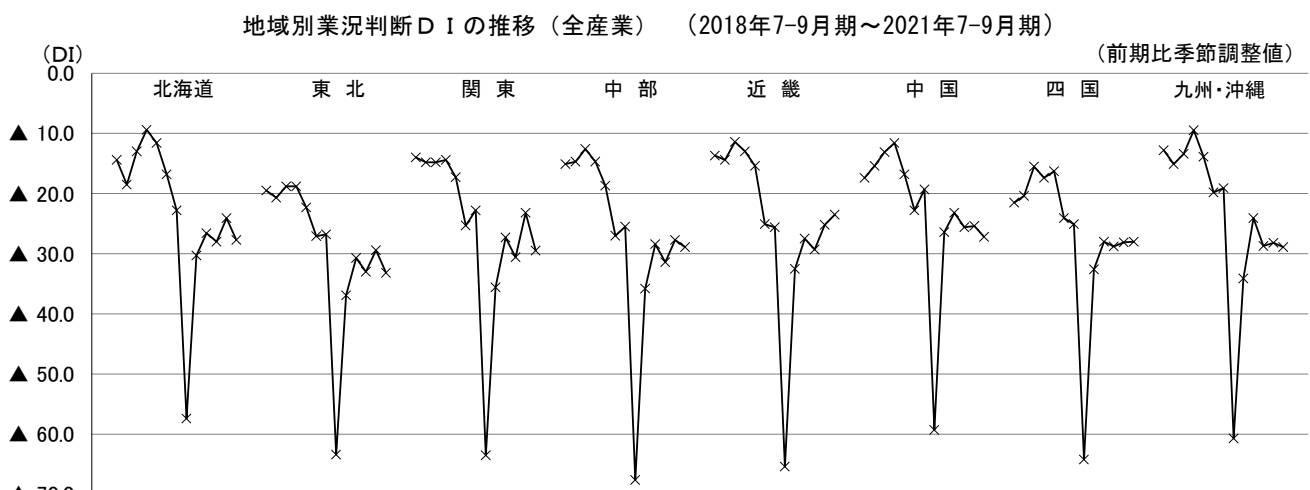
前期と比べた全産業の業況判断D Iは、2期ぶりに低下した。(▲25.8→▲28.4)



※網掛け部分は景気後退期

〈地域の業況〉

近畿、四国でマイナス幅が縮小し、関東、東北、北海道、中国、中部、九州・沖縄でマイナス幅が拡大した。



(注)1. 地域区分は、各経済産業局管内の都道府県により区分している。

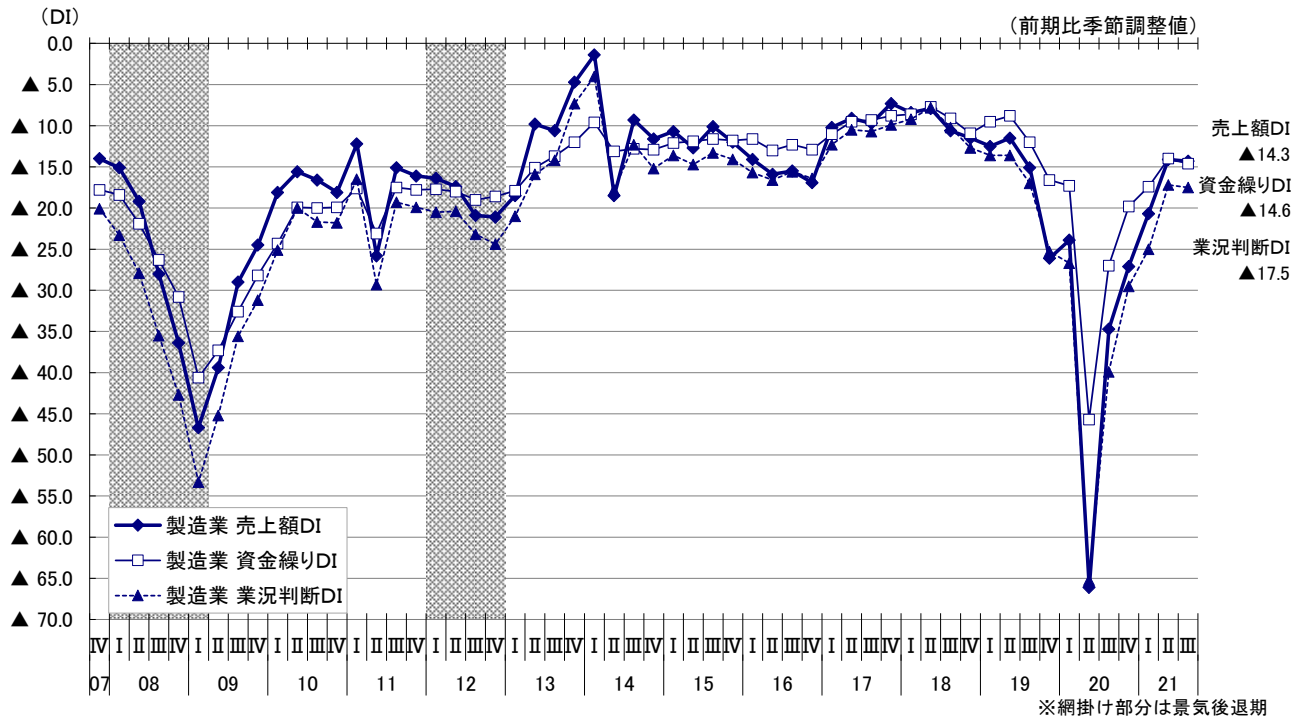
2. 関東には新潟、長野、山梨、静岡の各県、中部には石川、富山の各県、近畿には福井県を含む。九州・沖縄は、九州各県と沖縄県の合計。

3. 業況判断DI=前期に比べて「好転した」企業の割合－前期に比べて「悪化した」企業の割合

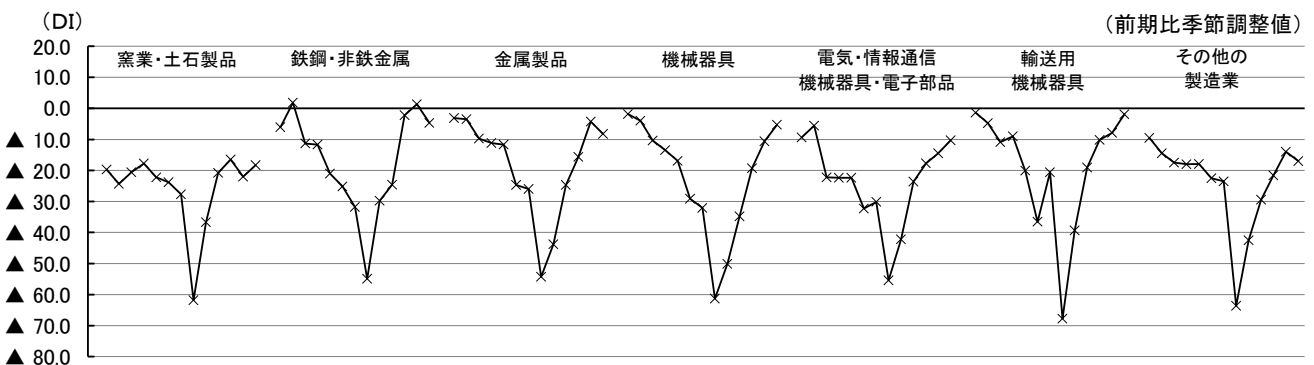
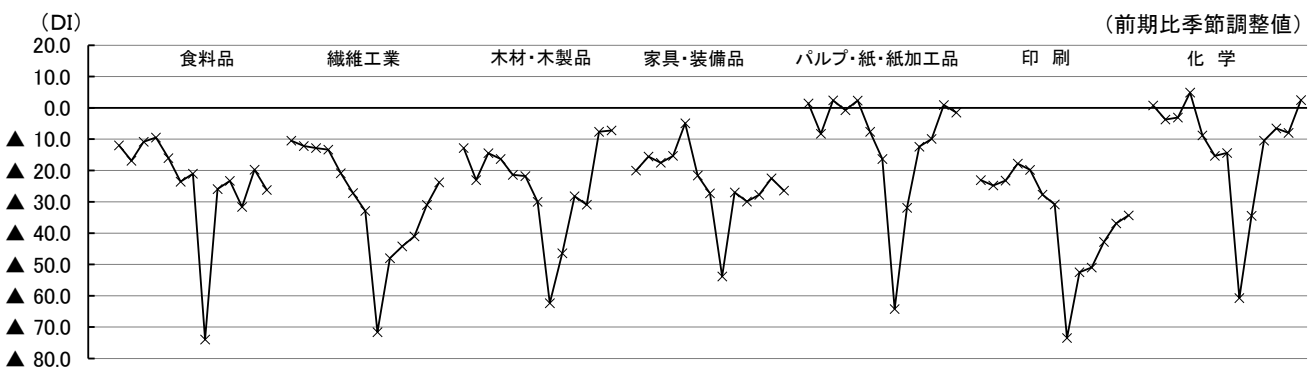
1. 製造業の動向

製造業の業況判断DIは、(前期▲17.2→) ▲17.5 (前期差0.3ポイント減)と5期連続してマイナス幅が縮小した。また、売上額DIは、▲14.3 (前期差0.2ポイント減)、資金繰りDIは、▲14.6 (前期差0.6ポイント減)といずれもマイナス幅が拡大した。

業況判断DIを14業種別に見ると、化学で2.5 (前期差10.5ポイント増)とマイナスからプラスに転じ、繊維工業で▲23.8 (前期差7.2ポイント増)など7業種でマイナス幅が縮小し、鉄鋼・非鉄金属で▲4.7 (前期差6.0ポイント減)など2業種でプラスからマイナスに転じ、食料品で▲26.2 (前期差6.5ポイント減)など4業種でマイナス幅が拡大した。



製造業 業種別 業況判断DI (2018年7-9月期~2021年7-9月期)



2. 製造業の設備投資動向

設備投資を実施した企業割合は、製造業全体で21.3%（前期差1.8ポイント増）と増加した。

（単位：％）

	食品	繊維工業	木材・木製品	家具・装備品	パルプ・紙・紙加工品	印刷	化学	窯業・土石製品	鉄鋼・非鉄金属	金属製品	機械器具	電気・情報通信・電子部品	輸送用機械器具	その他の製造業	製造業計
2021年7-9月期	23.5	14.8	13.7	11.9	21.2	18.1	29.7	20.4	29.9	24.2	22.8	30.2	30.9	16.5	21.3
2021年4-6月期	20.7	14.3	15.8	10.0	19.7	13.7	32.4	21.1	20.6	22.0	22.4	24.2	26.8	17.8	19.5
2021年1-3月期	21.7	11.3	16.7	15.8	18.2	15.0	27.1	21.8	14.5	24.5	18.7	19.7	30.3	16.9	19.3
2020年10-12月期	23.8	16.1	15.9	10.9	20.0	18.4	32.4	18.6	28.3	24.1	22.7	25.3	28.7	15.9	21.1
2020年7-9月期	22.8	13.6	17.5	13.7	13.5	17.7	36.2	22.1	19.2	19.6	20.2	24.2	27.2	15.8	19.8

3. 製造業の経営上の問題点

今期直面している経営上の問題点としては、前回同様「需要の停滞」が1位にあげられており、「原材料価格の上昇」が2位、「生産設備の不足・老朽化」が3位となった。

（1位にあげた企業の割合）

	1位	2位	3位	4位	5位
今期 (7-9月期)	需要の停滞 (30.4%)	原材料価格の上昇 (19.0%)	生産設備の不足・老朽化 (9.7%)	製品ニーズの変化への対応 (7.8%)	従業員の確保難 (7.5%)
前期 (4-6月期)	需要の停滞 (34.4%)	原材料価格の上昇 (14.5%)	生産設備の不足・老朽化 (9.7%)	製品ニーズの変化への対応 (7.7%)	従業員の確保難 (6.5%)

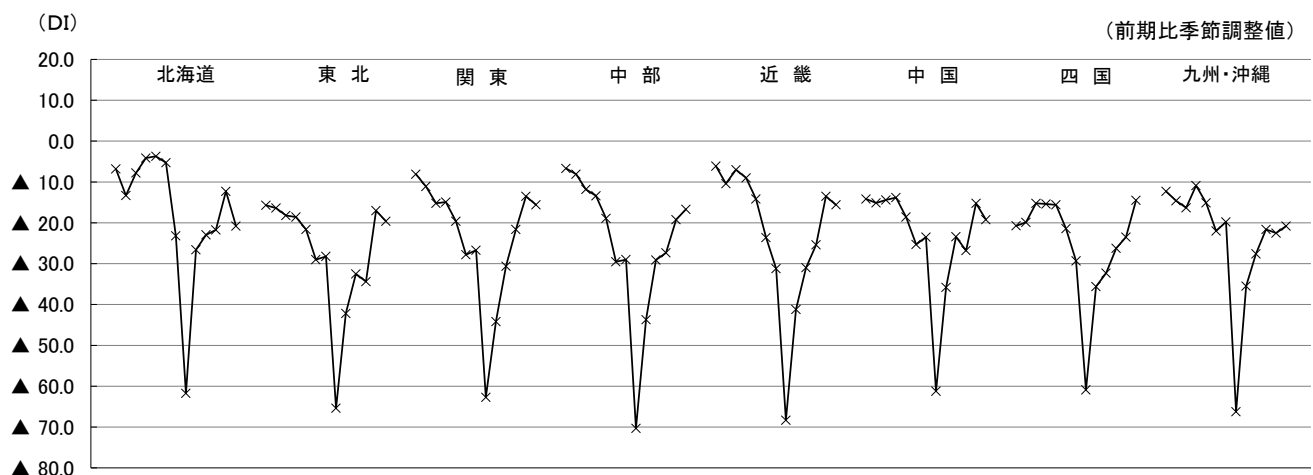
4. 製造業の地域別業況判断D I

地域別に見ると、四国、中部、九州・沖縄でマイナス幅が縮小し、北海道、中国、東北、関東、近畿でマイナス幅が拡大した。

中小企業の地域別業況判断D Iの推移

製造業

（2018年7-9月期～2021年7-9月期の動き）



（注）1. 地域区分は、各経済産業局管内の都道府県により区分している。

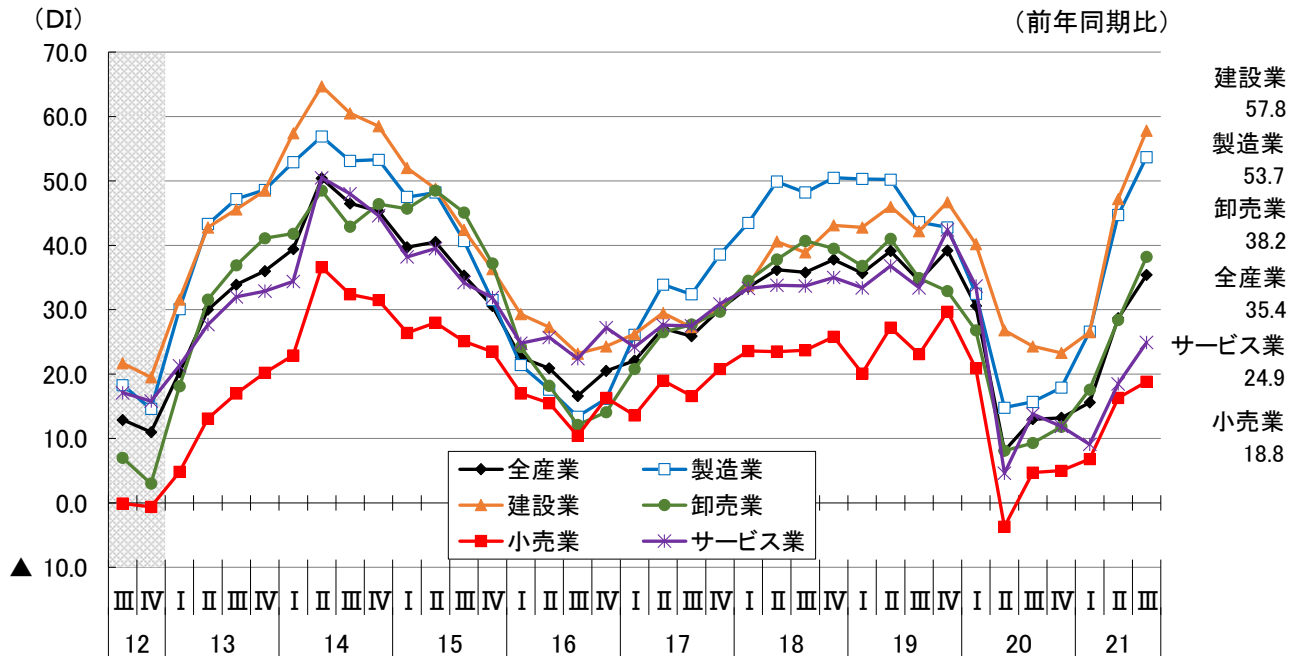
2. 関東には新潟、長野、山梨、静岡の各県、中部には石川、富山の各県、近畿には福井県を含む。九州・沖縄は、九州各県と沖縄県の合計。

3. 業況判断DI=前期に比べて「好転した」企業の割合-前期に比べて「悪化した」企業の割合

5. 製造業の原材料・商品仕入単価D I（前年同期比）の推移について

原材料・商品仕入単価D I（「上昇」－「低下」、前年同期比）は、（前期44.7→）53.7（前期差9.0ポイント増）と5期連続して上昇した。

産業別原材料・商品仕入単価D Iの推移



【調査対象企業のコメント】

- 緊急事態宣言やまん防による飲食店からの注文や、そこに納めている仲卸業者からの注文の減少により売上が伸び悩んでいる。（十勝・釧路・根室 食料品）
- 主要製品である空気清浄機の販売の伸び悩みが続き、他事業でも、世界的な半導体部品の不足の影響で、生産が遅れるケースも多発している。（青森 機械器具）
- 自動車業界の末端なのですが、全体的に生産抑える傾向があり、また、価格（原材料）上昇が続く一方、顧客は単価の上昇を認めてくれず、コロナの影響で新規開拓も難しく設備老朽化もあり、とても厳しい状況です。（神奈川 鉄鋼・非鉄金属）
- 自動車部品は、コロナウイルス感染拡大、半導体部品の不足で、これからの受注が心配です。水道部品関係が順調です。有難いです。（岐阜 化学）
- 材料遅延に対応しながら操業するも、半導体の不足や顧客の減産には為す術が無い。9月度以降の生産調整に対応し、再び雇用調整の局面が予想される。厳しい経営環境に向けた事前準備が必要。（兵庫 輸送用機械器具）
- 新型コロナウイルスの影響により、ガーデニング資材の売れ行きが好調である。しかしながら、想像していた利益は確保できていない。（岡山 繊維工業）
- 日本の鋼材価格は、他国と比較すると安価の為、近隣諸国からの需要があり国内資材が不足しているが上昇を続けており、建築需要があるにもかかわらず、非常に厳しい状況であり、死活問題でもあります。（香川 金属製品）
- ウッドショックによる原材料不足、仕入値の高騰が続いています。当社も値上げに踏み切る事に致しました。それに伴いカタログ改定を行なう事になりました。（佐賀 家具・装備品）

【調査要領】

- 調査時点：2021年9月1日時点
- 調査方法：原則として、全国の商工会、商工会議所の経営指導員及び中小企業団体中央会の情報連絡員が訪問面接し、聴き取りによって行った。
- 回収状況：中小企業基本法に定義する全国の中小企業で、調査対象数18,911のうち有効回答数18,178（有効回答率96.1%）（産業別の動向は、製造業の有効回答数4,456を集計したもの。）